

税金は子ども・市民の安全を最優先に

公共施設安全管理の
ありかたが問われる

学校給食費無償化を求める請願 議会での採択を願って

市民団体「学校給食費の無償化をめざす久喜市民の会」では、請願を提出するに当たり、各党派に紹介議員の依頼をされました。日本共産党久喜市議会議員として、賛同の上、喜んでお受けしました。

◆幅広い方から賛同の声が

請願に向け、賛同署名を訴えるチラシには元保守系議員の方、医師会の先生など、幅広い方が名前を連ねています。是非、家族そろってのご協力をお願い致します。

◆財源は大丈夫なの？

完全無償化にする財源は、約5億円。久喜市の予算の1%程度の金額です。2022年度決算では103億円の基金残もあり、十分実現可能です。埼玉県内や全国でも無償化が急速に進み、人口10万人以上の坂戸市を始め、東京23区中、20区でも無償化を開始しました。群馬県では約4割が既に無償化です。必要なのは、行政の「やる気」です。

◆国も、学校給食費無償化は「望ましい」

義務教育は無償と定めています。学校給食は教育の一環であり、国も無償化が望ましいと認めています。そして、無償化に向け調査に入りました。

◆給食費値上げの検討が

久喜市は、物価高騰を理由に、値上げを検討していますが、物価上昇・値上げ分は子育て世帯に支援の意味からも、**市が負担をすべき**です。

久喜市に住んでよかった、子育てするなら久喜市で！あったか久喜市に。

請願の採決日は 12月22日(金)です。

また校舎の壁が
落ちた(久喜東小)



◆久喜市の既存の公共施設では、老朽化が大問題になっています。
◆市役所本庁舎のトイレは、排水管のメンテナンスが不十分だったために逆流して、全面使用禁止になりました。久喜駅西口のデッキも一部落下するなど大きな事故が相次ぎました。
◆さらに、TVで報道のように学校の雨漏りはかなり深刻です。本町小学校の改善は、早急にと以前から指摘してきました。久喜東中学校の壁が落下し、「是正勧告」が出ているのに事実上放置してきたことなど非常に問題です。
◆新施設では、学校給食センターで空調設備が大寒波時の対応が悪く破損事故を起こしました。十月には久喜東小の壁も落下！

◆マスクミ報道で大きな事態になり、9月議会の補正予算で、緊急な箇所は修繕が行われることになりました。
◆これまでの問題は、子ども達が生活している学校の雨漏りや壁の落下を直さずに、新ごみ処理施設のせいたくなく部分に25億円を使うこと。
◆東鷲宮駅前からヤオコー2階へのデッキ建設に5億円をついやすなど、強引に進めていくことです。
◆市民から預かった貴重な税金は、市民や子ども達のためにこそ十分に充てるべきです。
◆これまで建築基準法など各種の法律で決められた点検も極めて不十分でした。市民や子ども達の安全こそ第一に考えるべきではないでしょうか。

わしみや桜田の東コミュニティセンター 売却しないで下さい

市は鷲宮東コミセンを売却の予定です。
◆自治会や町内会の総会、また、グループでの大きな催し、などに欠かせないとても便利な施設です。公園に隣接する落ち着いた環境も好評です。
◆公共施設の少ない鷲宮地域にあっては、地域全体からも「なくてはならない施設」です。代替えも利きません！



東鷲宮駅前に
5億円の歩道橋？

新ごみ処理施設はぜいたくな
施設に

25億円

もっと気軽に！ もっと便利な公共交通を

◆市は公共交通計画策定に向けてアンケートを実施中です。

日本共産党の「便利にする提案」は

- ◆循環バスは旧久喜市内だけでなく、希望や利用の多い市内全域に運行を。
- ◆デマンド交通(くままる)は、台数増で必要な全地域に走らせる。新久喜総合病院等には市内全域から直接行け、希望時に予約がとれるように改善する。
- ◆ふれあいタクシー 希望する予約がとれるようにする。
- ◆「民間事業との共存問題」では民間バス等の料金が公共交通より安くなるよう「割引バス」の発行など工夫を。
- ◆新ごみ処理施設にできる温浴施設などには各地区から直接行ける定期便の運行をする。

★公共交通の赤字分に対しては国から特別交付税が40%補填されています。財源の有効活用で、もっと市民の声が生きる公共交通計画が策定されるよう求めます。

景気がいちばん！

- ◆30年におよぶ経済の停滞・先進国で唯一「賃金が上がらない国」となり、暮らしの困難に、物価高騰で国民の暮らしはもうたいへんです。
- ◆長い自公政権で消費税の増税。富裕層や大企業減税で社会保障、年金、医療、介護など負担増と削減。義務教育での高額負担。食料、エネルギー自給率低下。全て「政治の結果」です。
- ◆日本共産党はこの困難の打開と未来を担う子ども達のために「経済再生プラン」(3つの改革)を提案しました。

1

政治の責任で
賃上げと待遇改善をすすめる
人間を大切にする働き方の改革

- (1) 最低賃金は1500円以上、月額が20万円程度に引き上げます。カギとなる中小企業への直接支援を10兆円規模で行います。男女の賃金格差を是正し、底上げをはかります。
- (2) 非正規ワーカー待遇改善法(仮称)をつくり、待遇改善と、正社員化をすすめます。
- (3) 過労死を生み出すような長時間労働をなくし、ハラスメントを一掃します。



2

消費税減税、社会保障充実、
教育費の負担軽減 暮らしを支え、
格差をたどす税制・財政改革を

- (1) 消費税の廃止をめざし、5%へ減税する。インボイスはきっぱり中止します！「地域経済再生給付金」(仮称)をつくり、中小企業の ※「過剰債務」をなくす。
※(金融機関などからの借入金など負債が返済能力に比べて大きすぎる)
- (2) 「物価に応じて増える年金」「マイナ保険証の強制は中止」◇社会保障充実で経済を好循環にします。
- (3) 学費ゼロをめざし、まずは半額にします。学校給食費は無償にします。



3

気候危機打開、
エネルギーと食料自給率の向上
持続可能な経済社会への改革を

- (1) 気候危機打開◇省エネ・再エネを推進、脱炭素・原発ゼロの日本を創ります。
- (2) 「食と農」を守ります◇農業を基幹産業とし、食料自給率を早急に50%に。
資材、資料高騰対策に1兆円規模の物価緊急対策を実施する。
価格保障・所得保障を充実する。



その財源はどこから？

- ◆大企業法人税率は28%に戻す 9.1兆円
- ◆富裕税を創設 3.2兆円
- ◆大企業の内部留保に課税する 10兆円
- ◆一時的な国債増などで 8兆円
- ◆政党助成金廃止 軍事費削減など 7.4兆円
- ◆大株主優遇をやめるなど 2.3兆円

日本は、30年間も
給料が上がって
いないんだって！



詳細はコチラ



しんぶん赤旗をどうぞ

日刊紙 月 3497円
日曜版 月 930円

3つの改革で
くらしに
希望を

日本共産党の
経済再生プラン

30年におよぶ
経済停滞・暮らしの困難を
打開するために



新久喜